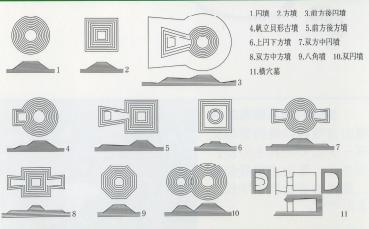


古代うつのみやの歩み

時代	ことがら
旧石器時代	氷河時代、日本列島と大陸が、地図の通り、動物群とともに人間が大陸から移動、列島に人間が住みはじめた。
縄文時代	列島の東西で特色ある石器文化が発達。 玉の装身具が出現。
縄文時代	○大谷寺洞窟遺跡（大谷町） ○瑞穂野園田遺跡（瑞穂3丁目）
縄文時代	貝輪や盾角形の装身具などを使用。 工具が見つかる。
縄文時代	広場をもつ集落が山界、大型住居も山界。 環濠集落などが見つかる。 ○根古谷台遺跡（上矢町）
縄文時代	祭祀儀礼が盛ん。 ○竹下遺跡（竹下町）
縄文時代	土製仮面が盛大に作られる。 工具の分化、多様化が進む。
縄文時代	東日本に馬ヶ岡式土器（文化）、西日本に黒色土器（文化）がひろがる。
弥生時代	大陸から米作りと金属器をもつ文化が伝えられる。 環濠集落が見つかる。蓄積や祭りにも変化。
弥生時代	近畿中心に方形溝溝塗、北部九州にカヌガが発達。
BC 100	○一軒屋遺跡（雀宮町） 那須台国の君王弥呼、魏に朝貢。
AD 300	前後円墳が盛んに作られ、三角縁神獸鏡など数々の名品が副葬される。
AD 400	○愛宕塚古墳（原町） ○塚山古墳群（西川田町）
AD 500	聖德太子が拱政となる。 中大兄皇子、中臣仲麻呂蘇我入鹿を暗殺する。
AD 600	平城京（奈良）に都を移す。 ○上神主（茂原遺跡・原町）
AD 700	奈良時代
奈良時代	自耕地

いろいろな古墳の形

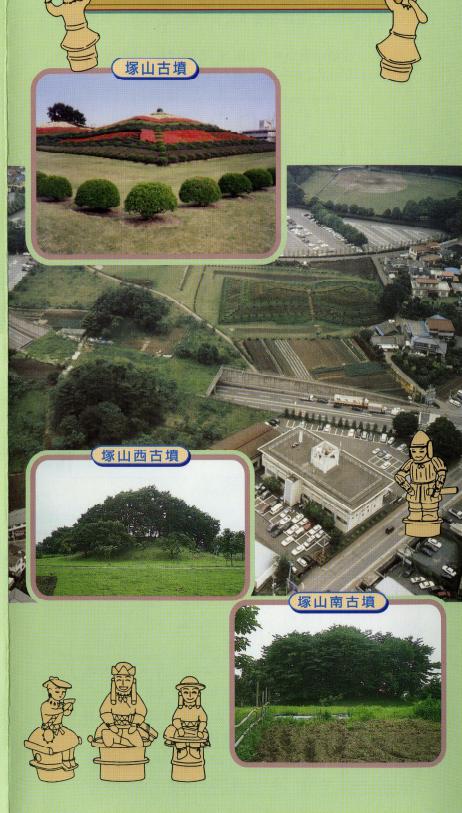


全国の主な前方後円墳

No.	古墳の名称	所在地	大きさm
1	仁徳陵古墳	大阪府	486
2	応神陵古墳	大阪府	430
3	履中陵古墳	大阪府	360
4	造山古墳	岡山县	350
5	河内大塚古墳	大阪府	330
6	見瀬丸山古墳	奈良県	318
7	景行陵古墳	奈良県	310
8	にさんざい古墳	大阪府	290
9	仲津姫陵古墳	大阪府	286
10	ウバナベ古墳	奈良県	280
11	善墓古墳	奈良県	278

県指定史跡

塚山古墳群



栃木県の主な前方後円墳

No.	古墳の名称	所在地	大きさm
1	琵琶塚古墳	小山市	123
2	摩利支天塚古墳	小山市	120
3	吾妻岩屋古墳	壬生町	117
4	藤本親音山古墳	足利市	116
5	上侍塚古墳	湯津上村	114
6	笹塚古墳	宇都宮市	105
7	正善寺古墳	足利市	102
8	塚山古墳	宇都宮市	98
9	山王寺大塚塚古墳	藤岡市	96
10	山工塚古墳	国分寺町	89

※ただし、○数字は前方後方墳



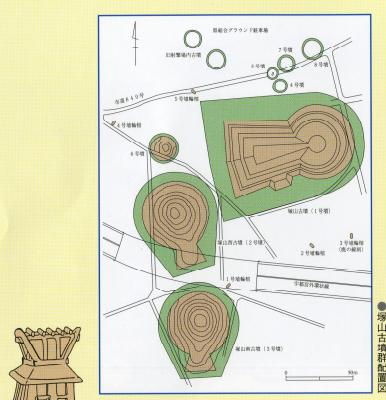
● 交通のご案内
・ 東武線西川田駅から徒歩約15分
・ JR東北新幹線宇都宮駅から約2.4km
・ 関東バス総合グランド行き
*問い合わせ先
栃木県宇都宮市教育委員会
〒320-8840 宇都宮市旭1-1-5
☎028-632-2764

塚山古墳群の概要

塚山古墳群は、前方後円墳である塚山古墳を中心とした古墳群で、5世紀後半から6世紀初頭にかけてこの地域を支配した一族の墓と考えられています。

現在残されているのは、この塚山古墳と塚山西古墳・南古墳および6号墳の4基ですが、これまでの調査で周辺には多くの円墳や埴輪棺（埴輪を使った棺）の存在したことが確認されています。

なお、塚山古墳はかつて「兵庫塚」と呼ばれており、兵庫塚という地名のおこりもここからきたと言われています。



塚山古墳群一覧表

古墳名	形	大きさ	出土品等
塚山古墳(1号墳)	前方後円墳	全長98m	円筒埴輪、土器、葺石
塚山西古墳(2号墳)	帆立貝形前方後円墳	全長61m	円筒埴輪、土器
塚山古墳(3号墳)	帆立貝形前方後円墳	全長83m	円筒埴輪、土器
塚山4号墳	円墳	直径7m	土器
塚山5号墳	円墳	直径8m	円筒埴輪、土器、人頭、木棺跡
塚山6号墳	円墳	直径20m	円筒埴輪、土器
塚山7号墳	円墳	—	鳥形埴輪、円筒埴輪、土器
塚山8号墳	円墳	—	円筒埴輪、土器
旧村塙内古墳2基	円墳	—	鳥形埴輪、短甲形埴輪、円筒埴輪
1~5号埴輪棺	埴輪棺	※3号は鹿の絵が描かれた円筒埴輪を使用	



塚山古墳は全長98mの前方後円墳で、5世紀後半ごろのもとのとしては、栃木県内でも屈指の大きさを誇っています。

この時代は古墳の大きさが権力を示していたと考えられていますから、塚山古墳に葬られた人物はかなり広大な地域を治めていたものと思われます。

塚山古墳は、前方部が剣先のように尖る特殊な形の前方後円墳です。この形は近畿地方にある大王の古墳に一部みられます。

また、塚山西古墳と南古墳は前方部が非常に短い前方後円墳ですが、真上から見ると帆立貝に似ていることから、帆立貝形前方後円墳と呼ばれています。

鹿の線刻埴輪(3号埴輪棺)▶

円筒埴輪は、古墳の墳丘上に立てられたものですが、それを転用し棺として使用する場合があります。

右の写真は塚山古墳南側の烟で発見された埴輪棺で、外面に、オスとメスの鹿が交互に描かれています。



5号埴輪棺▶

塚山古墳群内では、5基の埴輪棺が出土しています。

5号埴輪棺は長さ約2m、幅約0.6mの穴の中に円筒埴輪と朝顔形埴輪を組み合わせたものです。ちょうど大人1人がに入る大きさです。

塚山南古墳出土須恵器▶

塚山南古墳からは、埴輪、土師器、須恵器など、多数の遺物が出土しています。

その中でも須恵器は、高さが1m近い大甕や、高环形器台、装飾付脚付壺、二重瓶など、優品がそろっています。(平成17年11月7日市指定)



5号埴輪出土類▶

5号埴輪で見つかった埋葬施設の中から勾玉、管玉、白玉、ガラス小玉が出土しています。

愛護会等活動風景▶

塚山古墳群の維持管理をサポートしてくれるのが、地主さん、塚山古墳群愛護会、地元の若松原中学校の皆さんです。

